

■効果の見える治水事業

徳島県 船戸(2) 急傾斜地崩壊対策事業

徳島県西部総合県民局

県土整備部部长 瀬尾 守



○概要

当箇所は、徳島県三好市池田町中西にあり、人家7戸および三好市地域防災計画で避難路に位置づけられている市道やJR土讃線を保全対象に含む急傾斜地崩壊危険区域に指定されています。

区域内の保全対象人家の背後には急斜面が形成され、過去には土砂災害で尊い命が失われたこともあり、地域住民からは早期の崩壊対策の整備が望まれておりました。

このため、県では平成22年度より急傾斜地崩壊対策事業に着手し、コンクリート擁壁、落石防護柵、排水路等の対策工事を行い、平成26年4月に事業完了となりました。

土砂災害危険箇所の多い県西部においては、近年大型化する台風や頻発するゲリラ豪雨など、過去に経験の無い自然災害や、南海トラフ巨大地震の発生に備えたまちづくりが急務となっております。今後とも、土砂災害から生命・財産・ライフラインなどを守るために、「安全安心・実感とくしま」の実現を目指し、危険箇所の整備に取り組んでまいります。

【位置図】



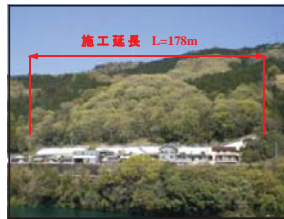
○事業内容

- ・事業期間 平成22年度～平成25年度
- ・整備内容 擁壁工 L=160.4m
- 落石防護柵 L=164.0m
- 水路工 L=269.6m

【着手前】



【完了】



【保全対象】



「この街に住んでよかった・生まれてよかった・訪れてよかった」と言われる安全・安心なまちづくり

徳島県 三好市長 黒川 征一



三好市は、平成18年3月、三野町、池田町、山城町、井川町、西祖谷山村、東祖谷山村の6町村が合併し、721.48平方キロメートルという四国一広大な面積を有する自治体として誕生しました。四国のほぼ中央に位置し、大部分は丘陵ならびに山地で占められ、可住地面積は13%と低く、ほとんどが急峻な山地で占められています。

中でも、四国の中央部を東西に貫く四国山地は、西日本第二の高峰、剣山や三嶺、等の高山があり、その他黒沢湿原、塩塚高原など自然豊かな地域であります。また、「うだつの町並み」、「落合重要伝統的建造物群保存地区」「国指定天然記念物大歩危溪谷美」等自然、文化遺産や伝説の宝庫でもあります。

三好市内の池田町には、中央構造線活断層「池田断層」が東西方向に形成分布されており、このような地理的条件から、市内には急傾斜地崩壊対策危険箇所や土石流危険渓流・地すべり危険箇所が数多く存在しております。

本地区の船戸(2)指定地においては、昭和58年9月28日の台風10号襲来による豪雨により土砂災害が発生し、1名の尊い命が亡くなった経過があります。

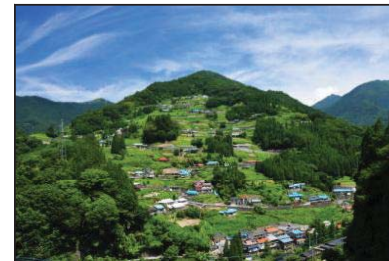


【大歩危溪谷美】

地域住民は、これまで不安を抱えながら生活を送ってまいりましたが、平成22年度から平成26年度において、徳島県のご配慮により、同地区の急傾斜地崩壊対策事業の調査及び対策工事に取り組んでいただきました。おかげをもちまして、調査地区全域において、対策工事が完了され地域住民も今後は、安心安全な生活が営まれるものと期待するものでございます。

三好市においても平成26年度から平成29年度までの4年間におきまして、数多くの受益者からの要望に応えるべく、市単独事業により急傾斜地崩壊対策工事の実施に鋭意推進してまいります。

最後になりましたが、事業の推進にあたり、ご尽力いただきました各関係機関の皆様方にお礼申し上げますと共に、今後とも、市民が安全・安心の向上のため引き続きご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



【落合重要伝統的建造物群保存地区】



【三嶺】